

# 平成30年度 佐賀県立有田工業学校 学校評価計画

<b>1 学校教育目標</b> 平和で民主的な社会の形成者として、個性豊かで人間愛に満ち、国際的視野に立って社会に貢献できる、心身ともに健全な人間を育成する。 ・地域を愛し、地域から愛される有工を育て、地域に根ざした学校として更なる発展を目指す。 ・学力の向上を図るとともに、文武心三道を確立を目指し、光り輝く有工を育てる。 ・夢や目標を持ち続けるチャレンジ精神豊かな有工を育てる。	<b>2 本年度の重点目標</b> ① 挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ② 学力向上対策の推進と資格取得による進路保障 ③ 生徒会活動、部活動の活性化と文武心三道の確立 ④ 保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進 ⑤ UDと5S運動(整理 整頓 清潔 清掃 躰)の推進
---	---

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

## 3 目標・評価

### ①挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育 (社会規範定着マナー向上)	基本的生活習慣の向上	・頭髪服装の違反者0人 ・交通マナーの向上	学期に2回程度の頭髪服装検査を実施する。事前に検査日を周知し、違反しないように呼び掛ける。 列車指導や登校指導の際に交通ルールを守らせる。その中で、挨拶や服装など基本的なマナーを身に付けさせる。
	○人権・同和教育	人権・同和教育の推進	いじめ、差別などの人権問題に関心を持ち、積極的に取り組む生徒を育成する	生徒をよく観察し、日ごろの生活態度に留意する。学年主任や各科主任と連携を取り、生徒情報の共有を図る。また学校生活チェックシートを活用し、問題行動後も生徒と関わることで、再発を防止し、意識改革に努める。
	●いじめ問題への対応	早期発見、実態把握に向けた全校的な体制の推進	学校生活において、他者への思いやりの心を育てることで、生徒一人ひとりが安心・安全に学校生活を送れるようにする。	・1年ネットいじめ、2年ノーマライゼーション、3年進路保障のテーマで、全学年ともに6月に人権学習・進路保障ホームルームを実施する。 ・11月に部落問題学習に関する講演会とホームルームを実施する。

### ②学力向上対策の推進と資格取得による進路保障

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	図書館利用の推進	生徒一人当たりの貸し出し冊数7冊を目指す。	・朝読書を通して、生徒の図書館利用を促す。 ・図書館だよりで生徒のおすすめの本を紹介し、生徒の読書意欲を喚起する。 ・図書館のレイアウトを変更することによって、より足を運びやすい環境を作る。
		基礎学力の向上、定着	・定期考査における欠点数を昨年比で20%減らす。 ・基礎力テストにおいて不合格数平均を昨年比20%減らし、平均9点以上の数を20%増やす。 ・家庭学習時間の増加と習慣化	・授業、テストに真剣に取り組む指導とクラスの雰囲気づくりに努める。 ・定期考査時に学習記録を記入させる指導に取り組む。 ・各クラス・各教科等で教科の目標点を決めて、その達成を目指す。(基礎力テスト) ・「家庭学習強化週間」を設けて、意識づけを図る。 ・各教科・科目において課題内容について吟味を行う。 ・適切な帰宅時間を習慣づけるための指導を行う。
	○進路保障	進路意識の形成	生徒自身が、自己の進路目標を明確化・具体化して、主体的に決定できるようにする。	・「進路のしおり」を改訂し、「ポートフォリオ」とともに活用してLHRの充実を図る。 ・企業訪問や新聞記事等の進路に関する情報を随時提供し、進路に対する意識の高揚を図る。 ・県内企業紹介会や進路ガイダンスを実施し、進路目標の設定や進路選択に役立てる。
		進路保障	就職内定率・進学決定率共に100%を目指す。(2学期末までに)	・選考試験一次合格率90%以上を達成するため、進路対策補習や模擬面接を充実し、基礎学力および面接時の対応力の向上を図る。 ・前年度までの受験報告書を活用して対策を練り、目標達成のための努力を継続させる。 ・継続した個人面談および進路相談の実施により、進路選択から決定までの支援を徹底する。
○資格取得	資格取得指導	ジュニアマイスター認定:ゴールド10名、シルバー25名、ブロンズ25名、校内表彰80名以上。3年間で全員が3つ以上の資格を取得する。	・顕彰制度、表彰制度を生徒・保護者・職員へ周知させる。 ・資格取得、コンクール参加を奨励、補習体制の充実	
	ものづくり	各種競技会や公募展・コンクールなどに積極的に出場・出品をさせ、最優秀賞または1位を目標に、多数の入賞を目指す。	・授業・補習等の指導を物心両面から充実させ競技会へ万全の体制で挑ませる。 ・公募展の主旨説明を行うなど積極的な参加を奨励し、授業・補習・部活動など多方面からの指導を行う。	

### ③生徒会活動、部活動の活性化と文武心三道の確立

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○部活動・学校行事の活性化	学校行事の充実	学校行事への全生徒・全職員の主体的参加参加者全員による校内アンケートで、「よかった」以上 80%を目指す	・事前準備と指導、連絡を確実にし、全職員、生徒で作る行事にし、校内アンケートで成果をはかる。 ・職員と生徒の意見を早期から聞き取りながら、常に方向性を吟味する。 ・生徒会職員、生徒執行部を中心に必要に応じてクラス、学年、科、部活動、全体のまとまりある連携を取りながら進める。
		部活動の充実	生徒の精神的協調、協力、身体的成長、練磨を育む 体育部、文化部併せて5つの部活で県大会4位以内に値する成果をあげる	・練習試合など対外活動の月1回の実施 ・顧問会議を通して情報交換を行い、活性化に向けた提案などを受ける。 ・生徒の実態を把握した上で、主体的な活動としての部活動を作り上げる。

### ④保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進を図るとともに、業務改善を進める

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○開かれた学校づくり	保護者会との連携	PTA総会の出席率85%以上を目指す。	総会で進路実現のための情報を発信するような講演を行い、保護者が関心を持てるようにする。また、評議員の方々の協力で、総会参加を促進する。
		情報発信	ホームページの内容の充実および保護者への浸透。少なくとも週に複数回の更新	・逐次ホームページの情報を更新する。学校案内などの整合性を保つ。 ・ホームページ管理更新の組織を明確にし、更新人員の拡充を行う。
活教育	○キャリア教育支援	キャリア教育の充実	キャリア教育に関する生徒満足度80%以上 生徒の希望するインターンシップ受け入れ事業所を確保する。	・将来の進路を想像できる実技や講義を計画的に実施する。 ・実際に生徒が就職した実績のある事業所を開拓する。
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	職員の心身にわたる健康の増進(職員が元気であることで、生徒と共に活気あふれる学校であることを目指す)	勤務時間外労働時間の前年比20%減を目指す。	・部活動の休養日を設けることにより、職員・生徒の健康維持、健全育成を図る。 ・事務業務の簡素化、効率化を図り、職員が生徒と向き合える時間を充実させた上で、職員の帰宅時間を早める。 ・職員が心身の不調を感じた時には、随時休養または医療機関受診ができるような職場内の相互関係を築く。

### ⑤UDと5S運動(整理 整頓 清潔 清掃 躰)の推進

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	環境整備・美化	5S運動を推進し、安全教育の充実と環境意識を高める。	・地元企業の5Sに対する取り組みを調査し、その内容を保健便り等に掲載するなどして、ものづくりに責任をもって取り組もうとする意識の向上を図る。
	○生徒会活動	UD思考の考え	UDの啓蒙活動の実施 UDの視点を取り入れたボランティア活動	・月1、学期1の新聞発行をはじめ生徒会活動を通して、震災支援や防災の啓蒙、UDの視点を育む。 ・学期に1回の清掃活動などを行い、学校周辺の環境美化に貢献する。

### 本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	望ましい生活習慣の形成	口腔内の健康に対する意識を高め、歯科受診率25%以上を目指す。	・保健便りに1年生対象の歯科衛生講話の内容など、口腔内の健康の大切さに関する情報を毎学期掲載するとともに、未受診の生徒への学期ごとの連絡を実施し、2・3年生を含めた受診率の向上を図る。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目